



第5号

発行日：平成22年11月1日

病院の理念 基本方針 「患者本位の医療」

患者さまの意思を尊重し、信頼される医療を提供します。

地域中核病院として、高度な医療と救急医療の充実に努めます。

急性期病院として関係機関と連携し、地域医療の充実を目指します。

地域がん診療連携拠点病院として、機能の充実強化に努めます。

臨床研修指定病院として、地域医療を担う優れた医師の育成に努めます。

テーマ

栄養サポートチーム (NST)

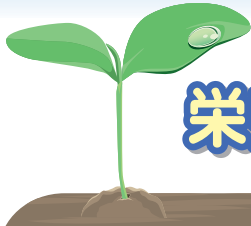


栄養サポートチーム (NST) とは

NST指導医・NST委員会委員長 内科部長 塚越 正章



健康な時でも栄養に気をつけている方は多いと思いますが、病気になるとさらに重要な問題になってきます。栄養が悪いとどうなるか、病気の回復が悪くなったり、傷がよくならなかつたり、ひどくなると筋力が落ちてしまい寝たきりになってしまうこともあります。病気で入院される患者さんの約半分が栄養不良であるといわれていますが、今まで栄養にあまり注意がされていませんでした。治療の中心である医師は、薬や病気には目がいくのですが、栄養までなかなか注意がいきません。その中でNSTがつくられました。NSTとは栄養サポートチームの略です。チームとして、医師だけでなく、栄養士、看護師、薬剤師、言語聴覚士、歯科医師などの多職種で集まり活動します。栄養障害のある患者さんを対象に回診や検査データを検討しながら、栄養状態をよくするための手助けをしていきます。チームで考えることでより細かい対応ができるようになり、栄養状態の改善とともに病気回復、早期退院などの効果が得られています。治療のひとつとして栄養はとても大事な部門であり、NSTは重要な役割を担っています。



栄養サポートチーム(NST)活動紹介

院内の患者様については、検査値・食事の摂取量・全身状態などを把握し、専門的な知識を活かし、個々の患者様の状態に合わせた栄養補給の手段を週1回の検討会で意見交換をしています。さらに、ベットサイドへ訪問し、患者様との対話から食事内容を相談しています。

在宅で療養している患者様は、訪問看護ステーション「はるかぜ」の訪問看護師が院内のメンバーと相談しながら、栄養状態の改善を図っています。

「食べる」「栄養を補給する」という行為は、人が生命維持していく過程の中でとても重要な行為です。その行為が、疾患により障害を受けたり、長期の療養生活の経過の中で意欲低下を生じて思うように栄養が取れない患者様に対し、どうしたら栄養状態が今以上に改善できるかを常に視点をおいてチームで活動しています。

院外活動としては、全国規模の「日本静脈経腸栄養学会」・群馬県内の医療関係機関で開催している「群馬NST研究会」・多野藤岡地域では「多野地域連携栄養研究会」など、毎年NSTの活動内容を発表しています。

また、当院は、NSTの『教育認定施設』として日本静脈経腸栄養学会より認可を受けており、今年度から専門的知識を得て栄養を管理する「NST専門療法士」を目指す医療スタッフ育成のため、院外の地域医療機関から修練生を受け入れています。

今後も、院内の患者様をはじめ地域の患者様、および関係機関スタッフの協力のもとNST活動を進めていきたいと思っております。



NST委員会 看護師長
田村 幸子



栄養サポートチーム (NST) での管理栄養士の役割

NST専門療法士・管理栄養士 竹内 幸子

栄養サポートチームでの管理栄養士は、カンファレンス、ベッドサイドへの回診等に参画し、患者さんの栄養状態を多職種と共にアセスメントを行い、その結果をもとに、栄養投与方法や栄養投与量などを決定します。その際、栄養摂取量の算出、食種の特徴や栄養組成の情報提供、食事形態の決定、栄養剤や栄養補助食品の適切な選択へのアドバイスなど個々人にあつた栄養管理を行ううえで重要な役割を担っております。



多くの患者さんと接して思うことに、少量でも食事を経口からとれる患者さんは、より元気になられている印象があります。また、食事は単に栄養補給だけでなく心のケアにも密接に関与していると思われます。

『食べる喜び』『生きる喜び』に繋がる栄養管理を常に心掛け、チームの一員として貢献できるように日々最新の専門知識をもって臨床に携わることがNST専門栄養士としての役割と考えております。

NSTという言葉聞いたことがありますか

NST専門療法士・薬剤師 堀越 世津子

皆さんNSTをご存じですか。毎週月曜日の14時30分からメンバーが集まり、栄養介入が必要な患者さんのデータをもとに、意見を出し合いその後各患者さんのベッドサイドに出向いていきます。

私はNST薬剤師として輸液や栄養剤の選択、適正使用の指導、配合変化や相互作用の確認や、患者さんや家族への栄養剤の説明等を行なっています。さらに、薬と食物やサプリメントとの相互作用をチェックします。また他のメンバーと患者さんの嗜好について意見を出し合うこともあります。

心がけていることは、常に患者さんから顔の見える薬剤師であることです。そのためにもさらに専門知識を高めていく必要があります。NST活動は、設立後6年が過ぎました。今後も私たちスタッフは、患者さんの栄養状態、QOLの向上、治療促進を目指して日々協力し合っています。いつでも患者さんや家族から相談を受けるNSTでありたいです。



公立藤岡総合病院附属外来センター診療予定表

平成22年11月1日 現在

診療科		月	火	水	木	金	
内科系 (呼) 呼吸器 (血) 血液 (消) 消化器 (腎) 腎臓・膠原病 リウマチ (糖) 糖尿病 (循) 循環器科 (神) 神経内科 (甲) 甲状腺 (肝) 肝臓 (新) 新患 (再) 再来	午前	(新) 神戸 (再) 須賀 (再) 橋本☆	(新) 梅元☆ (再) 林 (循) 井上	(新) 山岸☆ (循) 吉村☆ (循) 高松	(新) 石埼 (再) 田原 (循) 須賀	(新) 吉村☆ (再) 竹内(季) (再) 入内島☆	
		(循) 植田 (循) 飯島 (呼) 中川 (血) 外山 (糖) 竹内(季) (神) 大沢	(循) 間瀬 (呼) 塚越 (血) 神保 (糖) 加藤 (神) 柳澤	(呼) 中川 (血) 斉藤 (腎) 太田☆ (腎) 浜谷☆ (糖) 加藤 (神) 柳澤	(循) 飯島 (循) 植田 (呼) 神戸 (消) 秋谷 (消)(肝) 壁谷	(循) 高松 (循) 山岸☆ (循) 金子 (腎) 塚田 (糖) 朱☆ (神) 平柳	
		(再) 壁谷 (再) 竹内(季) (循) 山岸☆ (呼) 中川 (腎) 太田☆ (糖) 加藤 (神) 柳澤 (消) 秋谷	(再) 飯島 (循) 井上 (呼) 塚越 (糖) 加藤 (甲) 森村 (消)(肝) 壁谷	(再) 柳澤 (循) 飯島 (呼) ※塚越 (消)(肝) 壁谷 緩和ケア【要予約】 15時～16時30分	(再) 壁谷 (循) 金子 (血) 神保 (血) 石埼 (腎) 梅元☆ (糖) 加藤 (神) 竹内(秀)	(再) 飯島 (循) 間瀬 (呼) 塚越 (血) 外山 (血) 入内島☆ (腎) 塚田 (糖) 加藤 (糖) 朱☆(第1・3・5週) (神) 水野(第2・4週)	
		午後	五十嵐	高橋 五十嵐	五十嵐	亀山 五十嵐	五十嵐
			五十嵐	高橋	五十嵐	亀山	五十嵐
	小児科 (乳) 乳児検診 (予) 予防接種 (神) 神経 (心) 心臓 (内) 内分泌	午前	川嶋 五十嵐☆	川嶋 相馬	牧岡☆ 小山☆	川嶋 深澤	川嶋 鈴木☆ 五十嵐☆
			(心) 岡田(第2・4週) 川嶋 (乳) 深澤	川嶋 鈴木☆	(内) 小和瀬(第2・4週)	川嶋 五十嵐 (予) 相馬	川嶋 龍城☆ (神) 柳澤
		午後	渡辺 田嶋	谷 石崎	龍城 谷	設楽 安藤	原 森永
			(消化器) 渡辺 (呼・乳腺) 田嶋 (和) 小暮(第2週)	(消化器) 谷 (消・乳腺) 石崎	(消化器) 龍城	(呼吸器) 設楽 (消化器) 安藤 (ス) 第1・3週 要予約	(消化器) 原 (食道・胃) 森永
	整形外科	午前	近藤 高橋 小野	久保井 勝見 萩原 10:30～装具外来	近藤 久保井 萩原 清水(リハビリ)	角田 高橋 小野 10:30～装具外来	近藤 久保井 萩原 清水(リハビリ) 10:30～装具外来
田中			非常勤	田村 甲賀	黒崎☆	非常勤 甲賀	
嶋岡			嶋岡	嶋岡	嶋岡	嶋岡	
皮膚科	午前	嶋岡	嶋岡	嶋岡	嶋岡	嶋岡	
	午後	15:00～群大	手術	手術	嶋岡		
泌尿器科	午前	武井 北浦	井上 北浦	曲	井上 北浦	武井 北浦	
	午後	北浦	北浦			北浦	
産婦人科 (婦) 婦人科 (産) 産科	午前	(婦) 吉田 (産) 延命☆	(婦) 延命☆ (産) 吉田	(婦) 吉田 (産) 中尾	(婦) 延命☆ (産) 遠藤	(婦) 中尾 (産) 吉田	
	午後	吉田(術後検診)	(産・婦) 延命☆		(婦) 遠藤 (産) 延命☆		
眼科	午前	石原	石原	石原		群大	
	午後	検査	検査	検査		検査	
耳鼻咽喉科	午前				群大 要予約		
	午後	15時～群大 要予約					
ペインクリニック	午前	日野/荒井			牛込		

診療時間： 8時45分～17時00分
受付時間： 午前の部 8時～11時
午後の部 13時～16時

※ 禁煙外来・耳鼻咽喉科(完全予約制)
☆は女性医師

発行：公立藤岡総合病院 〒375-8505 群馬県藤岡市藤岡942番地1
TEL 0274-22-3311(代表) FAX 0274-24-3161
URL <http://www.fujioka-hosp.or.jp/>
責任者：甲賀 英明
地域医療連携課(直通) TEL 0274-22-6039 FAX 0274-24-7002